

講座別「いのちと性の健康教育」を実施しました！

1/24 (木) 総学・LTの時間に、1年生を対象に講座別「いのちと性の健康教育」を開催しました。皆さんが書いてくれた各講座の感想です。

★デートDV：かけこみ女性センターあいち 亀井 かな さん

・デートDVは愛情をはき違えて起こる問題だとわかった。自分らしさを大切に、相手を尊重して、コミュニケーションをとりたい。
・自分だけで解決しようとしなくて、まわりの友達や大人に相談することが大切。
・嫌なことは嫌だとはっきり言えるようにしたい。
・DVはされた人だけでなく、その子どもにも影響がでることを知り、なるほどなと思った。
・自分の価値観を押しつけちゃダメ。



★LGBT出張授業 ～誰もが誰かのALLYになれる～

NPO法人ASTA 松岡 成子先生、当事者の方々

・ALLYの存在をもっと多くの人に知ってもらいたい。
・人を性別で判断するのではなく、「個」として見るのが大切だということが印象に残った。
・自分が誤解していたことに気づけたし、知らなかったことを正しく学ぶことができてよかった。
・「ホモ」「レズ」が差別用語だと知った。
・LGBTの人が生きやすい世の中になってほしい。
・貴重な経験でした。全員に聞いて欲しい内容だった。



★献血を通して、いのちの大切さを考えよう

愛知県赤十字血液センター 永田順人先生

・簡単に献血することができることや血液は骨からつくられることを知れた。
・血液を必要としている人々のために役立てるように、今から健康な体づくりをしたい。
・16歳から献血できることがわかり、献血ルームが愛知県内にたくさんあることもわかった。
・両親が何度か献血をしたことがあるらしいので、ついでに参加したい。
・話を聞いて、人のために何かをするのもよいなと思った。



★対話型防犯教室：愛知県警、瀬戸警察署

・護身術を学べた。練習したい。
・時計や靴の中にカメラをいれて盗撮するようなグッズがあると知り、ぞっとした。
・顔や体型にかかわらず、JKということで標的になることがわかった。気をつけたい。
・手に持って走ると音がなる便利なアプリも知ることができた。
・男として考えさせられた。女子と家族を守りたい。
・性犯罪をする人は職種に関係なく、どこにでもいる。

★臓器移植「死」を語ろう、それが「生きる」ということだ

ドナーファミリー 浅井 淳子 さん

・自分の意見で移植をするかしないかを決めておきたい。家族と一緒に考えたい。
・死後から短時間で臓器を出さなければならないから、残された家族も気持ちの整理がつかないまま移植をするかしないか決めるのは酷だなと思った。
・大人になったら、健康保険証や免許証の裏に意思表示する欄が設けられているので、意外と簡単に意思表示できるんだと知った。

★今、高校生に伝えたい女性のカラダと健康のこと

セントソフィアクリニック 婦人科 伊藤 知華子 医師

・これからは月経の悩みは婦人科で相談します。
・過度なダイエットは無月経につながり、無月経は不妊につながるということがわかった。
・保健の授業で学んだことがもっと深く学べました。
・正しい知識がない人にも伝えたい。
・婦人科はなんとなく行きづらい場所だと思っていたけど、その考えが違っていいことを知れてよかった。
・基礎体温をつけておくことも大切！
・月経痛がひどいとき、なるべく薬は飲まないようにしていたけど、我慢するのではなく、ひどくなる前に飲もうと思った。
・3ヶ月月経が来なかったら婦人科に受診することを知れた。

★Life is Beautiful 病棟で出会った人々から教えてもらったこと

南山男子中学部 (愛知思春期研究会代表) 中谷 豊実 先生

・愛の反対は憎しみではなく無関心。
・生きることのすばらしさを知れた。
・苦しみや悩みを持っている人がいたら、笑顔にさせてあげられるような存在になりたい。
・大切な人が幸せに生きていけるように支えたい。
・講師先生が優しく素敵なお人だった。
・自分が健康に生きていられることが、特別で大切に、ありがたいことだと知り、今の自分を好きになれるように生きていきたい。
・「生きるって楽しい！嬉しい！産まれてよかった～」と思うことがたくさんある人生にしたい。



★育児体験 赤ちゃん先生：NPOママの働き方応援隊

・将来パートナーをできるだけサポートしたいなと思った。
・今日した経験を活かして子どもと接したい。
・夫婦二人で子育てしたい。
・自分にもこんな頃があったんだなー
・なんでも口に入れてしまう年頃なので、食べたら危ないものを近くに置いてはいけないことを学んだ。

